

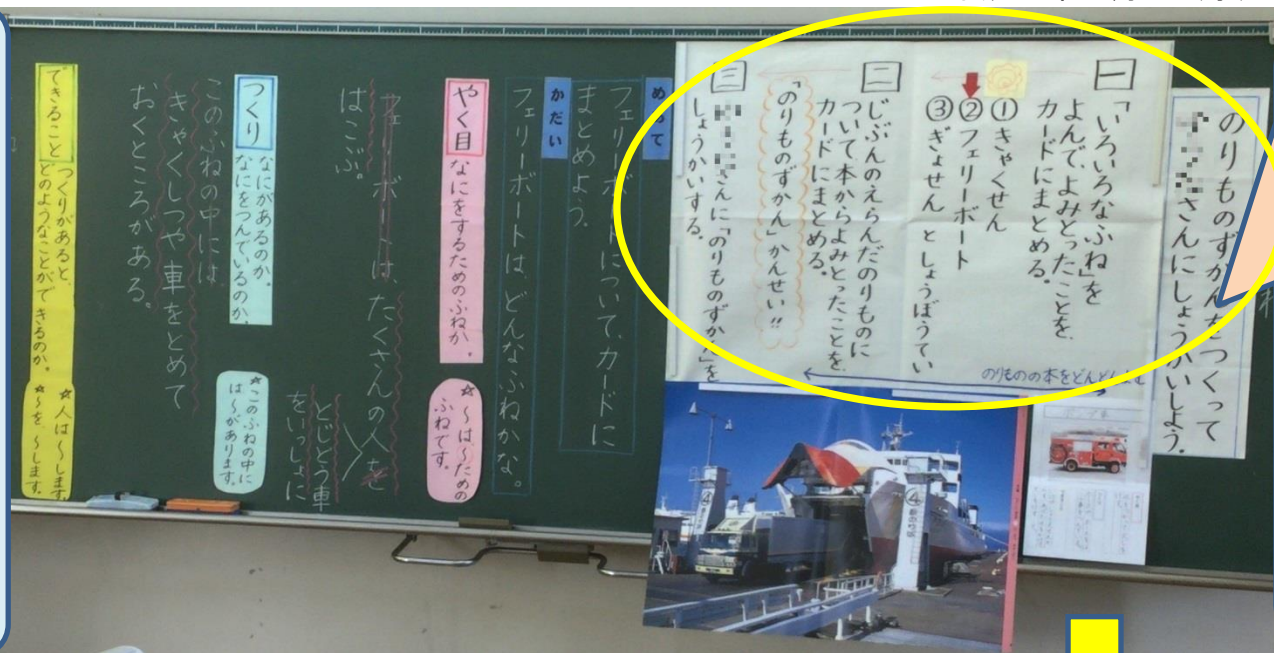
# 単元のゴールに向かい、並行読書を位置づけた国語科の授業

平成30年11月7日(水)白丹小学校:渡辺教諭

いわゆる「単元を貫く言語活動」が位置づけられ、それに向かって児童が主体的・対話的に学習する姿が見られた授業でした。

何より素晴らしい点は、学習が教科書の中だけで完結してしまうのではなく、教室内に関連する本を図書館から持ち込み、並行読書を位置づけていることです。

児童の学習への興味関心を広げ、学習を深めることにつながっています。



「乗り物図鑑を作って友だちに紹介する」というゴールを明確にした単元計画を提示することで、児童の学習意欲を喚起するとともに、毎時間の学習内容（本時のゴール）を児童と確認して学習をすすめています。  
・本時はフェリーボート



教室のロッカーの上には、教科書に出ていない乗り物の本が並べられ、児童がいつでも手に取って読めるようにしています。教科書で身に付けた力を活用し、自分が選んだ乗り物について「のりものずかん」を作ります。

★ブックトラックを用いて、図書館の本を移動してくる等の方法もあります。



教科書からその乗り物の ①やく目 ②つくり ③できることを読み取ります。前時で学習した乗り物のまとめ方を参考にして、ワークシートに整理していきます。このワークシートが『のりものずかん』になっていきます。